

分野	農業水利改良			事業番号	49	事業名	県営かんがい排水 (基幹水利施設ストックマネジメント事業)		
市町村名	佐久市、東御市	ふりがな 箇所名	あさしなかんせん 浅科幹線			事業年度 (完了年度は見込み)	H24年度～		H29年度
事業概要	計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)	用排水路工 L=2,639m				H23年度末 事業進捗率	0%		
	H24年度以降実施内容	同上				本工事費等ベース	0%		
	H24年度実施内容	測量設計 1式				用地補償費ベース	-%		
	年度	全体事業費	H22年度まで	H23年度	H24年度	H24年度以降残			
	事業費計(千円)	290,000	0	0	29,000	290,000			
財源内訳	国庫支出金	145,000	0	0	14,500	145,000			
	その他	72,500	0	0	7,250	72,500			
	県債	65,000	0	0	6,000	65,000			
	一般財源	7,500	0	0	1,250	7,500			
	観点	評価項目・指標等			評 価			ランク	評点
(20)	必要性	受益面積	500ha以上	200ha以上500ha未 満	200ha未満	A	5		
	施設危険度	人家等への災害が 予想	農地への災害が予 想	災害が予想されな い	5				
	地域用水機能	地域用水機能を有 する	地域用水機能有し ない		10				
	小 計						20		
(20)	重要性	市町村計画での位置づけ	位置づけあり	位置づけなし	A	10			
	県農政の重要施策への取組み	2つ以上推進	1つ推進	取組みなし		5			
	設計上の環境配慮項目	2項目以上配慮	1項目配慮	配慮項目なし		3			
	小 計						18		
(15)	効率性	費用対効果(B/C)	B/C1.2以上	B/C1.1以上1.2未 満	B/C1.0以上1.1未 満	A	5		
	早期発現度(効果発現まで)	5年以内	6年以上10年未満	11年以上	3				
	地域特有の取組み	2項目以上	1項目	なし	5				
	小 計						13		
(25)	緊急性	用水不足又は排水不良	受益の50%以上	受益の30%以上 50%未満	受益の30%未満	B	10		
	応急対策の実施状況	応急対策を実施中	応急対策を過去に 実施	応急対策を未実施	5				
	維持管理費節減	50%以上	30%以上50%未満	30%未満	3				
	小 計						18		
(20)	計画	地域からの要望	地域住民の内発的 な活動が強い	市町村からの要望 がある	特に要望ない	B	6		
	事業情報の共有	関係者以外に広く 周知	関係者を中心に周 知	特に周知してない	3				
	住民参加の状況	住民が計画策定に 直接参加	住民や市町村の意見 を計画策定に反映	住民意見は反映し ていない	4				
	小 計						13		
費用対効果(B/C)		1.71		評 価 の 合 計			A	82	
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	本地区の幹線水路は、昭和36年から昭和43年までに県営事業で整備された施設であるが、劣化や破損等が発生している。また、本水路の大部分が既に耐用年数を経過しているため、優先度の高い箇所から順次保全対策を実施していく必要がある。							
	地域からの要望経緯	施設の老朽化に伴う劣化が進んできたことから、五郎兵衛用水利改良区から改修要望があり、平成19年度から事業化に向けた検討を行っている。							
	事業説明等の経緯	五郎兵衛用水利改良区及び佐久市との協議を進めると共に、土地改良区役員を対象とした説明会を実施している。平成23年3月の土地改良区総代会で本地区の計画について了解が得られている。また、土地改良区は広報誌(土地改良区便り)の配布により受益者へ計画を周知している。							
	環境・景観への配慮項目	既設構造物を有効利用することにより産業廃棄物の発生を抑制するほか、集落が点在しているため、施工時には騒音や振動を最小限に止めるよう配慮する。							
	他事業・プロジェクトとの関連	特になし。							
特記事項	施設の管理は五郎兵衛用水利改良区が実施している。今後、維持管理の効率化が十分に図られるよう、その意見を反映した整備を実施する。								
地域の合意形成	全員賛成	概ね賛成	過半数賛成	動向不明	その他				
部意見	基幹水利施設の老朽化が進んでおり、必要性、重要性、緊急性が高い。既存施設の補修対策により、効率的な更新整備を行う。			政策評価課 意見	必要性が高く、重要性も認められる。				